れてけ

5

は

誰

Ł

11

はぐいる。人をた

るさっ

の対人

話比の

にすし

素るぐ

直

異まはさる

てし

いさ

カュー

がに

でつ

しい

るいくレる よて 人さ人に人例**ぐ** 人でハにハ. とつと行とえ**さ** 言をふっしばに え声かたな なにな後い人**み** い出いハ人前る 人 し人ン、で**心** って、カ例平**の** 例笑例チュボルー 気では手、化 なびば手、化 `言`をト粧や 人えあふイす**れ**

もとだ めしスいん変こ

縮て

こて在、

にるま

①べ人みしの見す う話一 な忠と嫌きのるゃとた。印けるてのしかし度忠大心告自なでしべれ同目で象らでそ自ぐ 生 よっした。一直がいたった。 他うもにれれてをまれて 気、にばい・り本てろ Ш のそをし気いる • 、心きし 石しつぐをい人・生をまい 一てかさつのが・き語すほ

躾いし物

y期 を 活え 編る らに あ と他っのかかい・方っ。ど すのておう。ま。、てそ本 1

> くき見 な悪う人ずが でり合おい口人。ひ話 ししつ互人やと例そを よたてい 陰言えひし うしいに 口わばそて ばな、話い ぐれっ かいすをる さば他 Ⅱ ,川 り人ぐす時 言 °にるに 心おの にの石 う例言人 なずい 人えいと話 っとと とば訳しを てすし 言人をな聞

7月20日(木) 第 1 4 号 発行責任者 鮫川中学校長 角田敏文

嗵

心し

豊🕠

カュル

で

思

11

B

ŋ

が

あ

る

生

徒

小》

身心

を

鍛

え

た

<

ま

L

11

生

徒

教

育

E

よる。

< 1

学

び

自

己

を

高

め

る

生

徒

|| 習 目編 を お

か

すのておう

な `いスるまタまはわに勉なす `ら人大 なによっ 大会と 大会出場 でかけるを いめ現すのけ走に、気目 気容ら指意 ゚゙・差らでおみ込標 込がう子義 をれすいなみを み違人人の [´]°てさがど がいで

てしれるれ にし持し度や生今どまでいトいぞ人るさ、てちてでら懸はうにすしすー き練れも駅ら頑アをいはさ命サかア°二る・ ま習のい伝にでするなれ部がはラそ年腕二に立ま部、てムとの、い動こなム時の計生りで、入したが、6ののかが、6ののかが、7000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、入したが、1000でで、1000でで、1000でで、1000ででは、1000ででは、1000ででは、1000ででは、1000ででは、1000ででは、1000では、 う。けで。入ししの持新自るにとさい な、み部いい音ち鮮らと励もん鳴満月時み が続で積いんなしつ足あ刻な は 年

部 うず休もに 活讠 || 動 🗎 惑さす 目編 にに 負負 けけ ずず 碩•

いって

5

し負 るり功実 よけ夏人身し際 `にぇ` `みいつ家 誘暑よき庭ス `学タ 内習门 容のト も習ダ 充慣ッ 実がシ ししュ! 張自 てっに り分 いか成る まに

わの言いか

週

0 行 事 予

でれさ頑習思聞け意極うでくだてでるはさ、ぞん張をいけて欲的受い、いしきい、ん 継れもつ強まる `的に動ま毎でまなは一が 続の、ていすよ満な活的す日すうい9年セ し苦そいら °う足気動態 °一 °かま月なッ

るた失ての優暗**今** く敗いろしい**週** 敗いろしい週 ねまい一の名 一でので言 ーなだい なな。 ななく

れば価値が変わる。 ものを見ていても、見方を	のだ。 \さんのチャレンジをしてい ぬばかり」でなく
------------------------	----------------------------------

26	25	24	23	22	21
土	金	木	水	火	月
PTA奉仕作業	全校集会・駅伝壮行会英語弁論大会		NO部活動デー 1・2年夏休み確認テスト 3年実力テスト		職員会議・部活動中止英語弁論・合唱発表